SF
SOLID HUMBACKING GUITAR

あのSGが驚いた。
ライトサウンド＆ライトボディを基本に、品番それぞれに独自の個性と機能。
弾き手の感性、高度なテクニックをどこまでもサポートするファンタスティックなモデルたち。

●アルニコ合金マグネット＆フェライトマグネットPU
アルニコ合金マグネット採用のSF-7000、5000のPUは、軽く、枯れたマイルド＆ウォームな響きを再現し、ハンバッキングの趣SGと双璧をなす明確なキャラクターをもった通好みのサウンドが特徴。1マイクモデルSF-3000に搭載のフェライトマグネット採用のPUは、攻撃的なフレージングに威力のあるクリアー＆パワフルな音が魅力。

●Tクロスメープル＆ワンピース構造
SG-2000の手法を受け継ぎながら、ボディ厚やラミネート比率を微妙に変えることで、マイルド＆ウォームな独特のライトサウンドの実現に貢献したSF-7000のワンピース構造ボディ。そのニュアンス豊かなサステイン・サウンド。

●バック＆トップカットボディ
腕、ボディとも軽くスリムにフィットするカッティングは高度な演奏テクニックを活かしきるためのアイデアだ。深いダブルカッタウェイ、やや薄めのネックを得て、ピッキングやフィンガリングもいちだんとスムーズさを増す。

●オリジナルトレモロユニット
ナイフエッジの2点支持方式などヤマハ独自のアイデアが投入されたトレモロユニット。チューニングの安定度がより自在のアームプレイを実現。(SF-3000) →コラム参照

●白蝶貝のインニシャルインレイ入りヘッド
●最高級ダイキャスト製トルク調整付糸巻
●全機種バイサウンドシステム内蔵→コラム参照

SF-7000
SG-2000の血をひくTクロスメープル＋ワンピース構造。卓越した演奏性とマイルド＆ウォームな響きでプロの要求に応えるソリッド・ハンバッカーのもうひとつの頂点。マイク＝ハンバッキング×2／コントロール＝ボリューム×2、トーン（プッシュロックSW付）×2、3点SW×1／胴＝メープル＋マホガニー／棹＝メープル＋マホガニー／指板＝ストライプドエボニー／胴・棹＝ワンピース構造／弦＝スーパーライトゲージ／重量＝3.9kg／¥120,000

SF-5000
アルダーボディの特質をフルに弾きだすハンバッキングPUにはバイサウンド回路も内蔵。ロックに、フュージョンに、ライトサウンドが活きるもっともSFらしいSF。
マイク＝ハンバッキング×2
コントロール＝ボリューム×1、トーン（プッシュロックSW付）×1
3点SW×1
胴＝アルダー／棹＝メープル
指板＝ローズ／胴・棹＝セットネック
弦＝スーパーライトゲージ
重量＝3.3kg
¥80,000

SF-3000
1マイク・トレモロユニットつきのシンプルハンバッカー。ソリッドギターのエッセンスを凝縮して、強烈に自己主張するSFシリーズのハーダーモデル。
マイク＝ハンバッキング×1
コントロール＝ボリューム×1
トーン（プッシュロックSW付）×1
胴＝アルダー／棹＝メープル
指板＝ローズ／胴・棹＝セットネック
弦＝スーパーライトゲージ
重量＝3.4kg
¥60,000

YAMAHA Electric Guitar Column

3系統のネック接続法
ネックは演奏性の生命線だ。ヤマハは、全モデルを1弦側の厚(低)さを弦側のR(より小さくした独特のD字型の断面形状をもったネックを採用。これは、楽器に不可欠の弾き応えを生む心地よい抵抗感とスムーズなフィット感を両立させるためのアイデアだ。加えて、1フットの感触が最終フレットまでつながるよう入念に削り出されている。そしてネックの素材、ボディとの接続のしかたのちがいで、それぞれ個性的なサウンドが生まれる。

●セットネック
ハンバッキングモデルに不可欠な伝統的なネック接続法。ネックに用いられる素材のサウンド特性がダイレクトに出やすく、メープルネックはパンチのあるクリアーな音が、マホガニーネックは甘く粘りのある音が魅力だ。ボディとの融合度も高く伸びのサウンドが得やすい。演奏性の面でも、ボディに対してある程度の角度をもたせてセットするためポジションにかかわらず弾きやすい。セットネックのこうした特性を採り入れて、シングルポビンギターの新たな展開をみせているのがSC-5000、3000だ。

Photo:SG-1000

●デタッチャブルネック
メープルを主材にしたネックをボディにビス止めすることで可能となる、切れのよいアタックな響きと抜いアタックは、デタッチャブルネック独壇場の世界だ。セットネックがバイオリンをはじめとする弦楽器の伝統的なネック接続法を踏襲したものなら、デタッチャブルネックはエレクトリックギターのために生まれたネック接続法ともいえる。とりわけシングルポビンPUとのマッチングがよく、またソリッドベースのあのビリビリくるサウンドには欠かせない。ヤマハは4点固定方式を採用。

Photo:BB-VB

●ワンピース構造
ボディとネックを一体で削出すワンピース構造は、わが国では、SG-2000が初めて実現した手法だ。弦振動が切れ目のないループを描くためエネルギーロスがなく音の伸びもすばらしい。また、硬い木は柔らかな木が一体の振動系として機能するためサウンドの融合性にもすぐれている。ただ、ブリッジを硬い木の上に固定しないとこうしたサウンド特性は大きく減衰する。演奏性のよさ、品質感もふくめるルックス、反りや狂いにつよい剛性の高さも魅力だが、ヤマハは純楽器的にサウンドを追求し、Tクロスメープルをはじめ随所に創意を凝らしている。

Photo:SC-7000

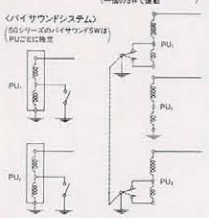
バイサウンドシステム＆バイサウンドシステムMkII
シリーズ配役による"パワフルなハンバッキングサウンドと、コイルタップによるシャープなシングルポビンサウンドが切り換えできるハンバッキングPUのためのバイ

Photo:SG-1000

サウンドシステム。対して、あらかじめ2個増のコイルを内蔵させた特殊回路により、ブリリアントなシングルポビンサウンドとハンバッキングならのハイパワーサウンドが切り換えできる。シングルポビンモデルSCシリーズに搭載のバイサウンドシステムMkII。しかもヤマハの場合、バイサウンド用のプッシュロックSWをトーンノブに組込んで、リアルタイムの演奏性を飛躍的に高めている。1本で2本分、3本分の音創りが楽しめるだけでなく、リードから瞬時にバッキングへ、あるいはトリッキーな音創りにも、自由度の大きい、ライブでの威力もはかり知れないじつに魅力的なサウンド・ファンクションだ。

〈バイサウンドシステムMkII〉
(SCのバイサウンドMARKIIは一個のSWで運動)

〈バイサウンドシステム〉
(SGシリーズのバイサウンドSWはPUごとに独立)



ヤマハオリジナル・トレモロユニット
SCシリーズ全機種およびSF-3000に搭載された独特のトレモロユニット。その性能、信頼性、細心の調整機能。

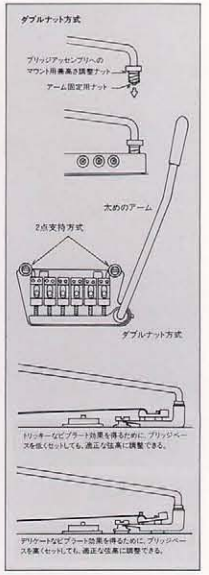
●ナイフエッジタイプの2点支持方式
ブリッジサドルの支持面をナイフエッジにしたスタッドボルト固定による2点支持方式だから、アーミング時の支点移動が発生せず必然的に音程は安定。さらに、デタートなビブラートから大地を揺るがすようなビブラートまで、ブリッジベースを上下に調整するだけで目的の効果が得られ、弦高もつねに適正にセットできる。つまり、性能は100%サウンドに還元される。

●アーム取付部のダブルナット方式
演奏フォームや体格によってアームの高さを調整できるだけでなく、締めすぎでアームをねじ切ってしまうなんていう不慮の事故も起こらない。

Photo:SF-3000

●やや太め、ヘビィデューティな6ポアーム
アームのむれみがなくポンスムすばらしい。したがってアーム効果のレンジもグンとひろがる。

●均一なテンションが得られるヘッド
弦押さえのない、1～6弦まで均一なテンションが得られるマシンヘッドを採用して音程の安定度を25%高めている。



ヤマハに使われている木たち

●メープル
硬く、密な木質は芯のあるタイトな音を生み、ソリッドハンバッキングギターのボディ材に欠かせない木。ネック材としてもボディの構造や素材、PUのちがいにかかわりなく広汎に用いられるエレクトリックギターの代表的な素材だ。ステージ上のライティング映えも申しぶんのない木地をもっている。

●マホガニー
性質は比較的柔らかく、甘い粘りと艶のある音質が特徴。ソリッドハンバッキングギターのボディバック材やネック材としてひんぱんに用いられる。メープルと並びエレクトリックギターの主力となる素材だ。

●アルダー
同じ柔らかな性質をもつマホガニーの艶やかな粘りに対し、枯れたブロード感のある音を生みだす素材。エレクトリックギターのボディ材としては古くから知られていたが、乾燥および製材の工程管理に大へんなノウハウを要求されるため、ヤマハが見事に甦らせた現在でも"幻の素材"と呼ばれている。SF、SC、SJ、BBモデルに採用。

●ゼン
この素材もまた性質は比較的柔らかくクリアーですなおな音を生み、シングルポビンPUとのマッチングにすぐれている。ソリッドベースのボディ材としても活用され、サウンドイメージにひったりの木地の美しさも魅力だ。

●ナトー
性質はやや重く柔らかい。コンクリートにも似たザクッ、ガツンとくるベースサウンドが特徴のSBモデルのボディ材がこれだ。ステージを圧する破壊力がすばらしい。

●スプルース
性質はすこぶる柔らかく、立ちあがりが丸くてふくよかにひろがる張りなくアコースティックな響きを生みだす。グランドピアノの響板材としても知られる高級素材だ。